

四、枯れない炎

原曲…エクステンドアッシュ　　蓬萊人

月まで届け、不死の煙

今昔幻想郷　　Flower Land

行き詰って焼き払って右往左往

苦悩知ろうとも今は昔と雲隠れのまま

立ち止まって引き延ばす往路の側で微笑むあなたに気付かない

顔見知るのも雨後の筧

記憶薄まる我も人の子

自分一人何処にも進めないの

咲かせて真夜中、散って朝焼け

代わる代わる欠けていく同じような姿

それすら看取り

齢重なって影白むまで長く喧噪

誰も離れないから

千代に摘み取られようと

巡り巡る旅路を往くすべてまで届くように此処で照らすよ

絶って、去って、縁も無くなって

十歩、百歩、遠くなったっていつの間にか

ほら足元広がる

這って、割って、手を伸ばしたんだ

生を謳って上を見な

花開く今日

一度限りの

待ちくたびれて痘痕も 靨

雨曝しなら傘など切望？

怒り、恨み、とうに飽き果てたのさ

咲かせて鮮やか、散ってサヨナラ

代わる代わる駆けていく種一粒から繋がる視界

永遠に絡まって

諦め尽くして尚続く夢を忘れないから

万枯れ落ち腐れど

芽吹き紡ぐ旅立ちの礎馳せる

齢重なつて舞い上がれどこまでも

鳴動

誰も離さないから

千代に掻き消されようと

巡り巡る旅路を往く軌跡

まだ燃えるように此処で照らすよ

齢重なつて

永遠に絡まって